

7・8 月の「企画展示」を紹介します

今年度の校外芸術鑑賞会「活動写真弁士と生演奏による『無声映画』の世界」が 7 月 8 日 (火)、無事に終わりました。それに先立ち、映画「カツベン！」(監督・周防正行、主演・成田凌)の上映会が、7 月 2 日 (水) と 3 日 (木) の放課後、図書館 2 階・多目的コーナーにて実施されました。**この 2 日間で、生徒・教職員を合わせて 17 名が参加。**「おもしろい上映会でした」という感想をいただきました。参加された皆さま、ありがとうございました。**今回の校外芸術鑑賞会に関する感想文・感想画の提出期限は 9 月 1 日 (月) までです。**皆さんの応募をお願いします！



さて、7 月と 8 月の「企画展示」テーマは「戦争と国際社会」です。ウクライナとロシアの長引く戦争、つい最近に生じたイスラエルとイランの軍事衝突など、現代の国際社会では、大小さまざまな紛争・戦争が勃発しています。そうした争いはなぜ起こるのか、平和の実現はなぜ難しいのか。そんなテーマを扱っている本を多数展示しています。図書館にぜひ足を運んでみてください。

私が展示本から借りた一冊が、高柳先男『戦争を知るための平和学入門』(ちくまプリマーブックス、2000 年)です。「戦争の原因を、多くの学問を応用してつきとめ、平和の諸条件を探究する」のが平和学と定義する著者ですが、「平和」をどのような状態として捉えるかが、この学問では重要と言います。著者は、「平和」とは戦争のような「直接的暴力」や、貧困・抑圧を中心とする「構造的暴力」をなくして、「社会的公正」を増やしていくプロセスとして考えるべきと主張し、当時の代表的な事例ーボスニア紛争、コソボへの NATO 空爆、インド・パキスタンの核実験などをその視点から分析しています。著者がそこで強調するのが、平和学に携わる人間ー便宜的に「平和学者」としておきますーの問題意識。平和学は「人間の尊厳」を最も重視しているので、「平和学者」は「ものいわぬ人々が幸せに生活するにはどうしたらいいか」という視点から、紛争・戦争の問題点を考察すべきと論じます。さらに、「平和学者」は「他人のことをどれだけ思いやれるかという想像力」を働かせることも大切と言います。「先進社会の人々が、自分だけ幸せならいいんだ」ということではなくて、自分の幸せは実は他人の不幸とつながっているんだという構造を理解できるかどうか。それは知性の問題なのです」。平和学は誰のための学問なのか。著者の学問観ーもちろん、「無辜の人たちのため」という答えになるでしょうーはこの一言に尽きると思いますが、とてもよく共感できます。

もう一冊紹介したい本があります。踊共二『非暴力主義の誕生ー武器を捨てた宗教改革』(岩波新書、2025 年)です。本書は、16 世紀の宗教改革により成立した再洗礼派の「非暴力主義」の思想に着目しています。高校・世界史ではわずかな説明しかされませんが、再洗礼派は急進的なプロテスタントの一教派で、マイノリティーな集団に分類されます。聖書の記述を原理的に信仰する再洗礼派の人たちは、「攻撃や迫害への反撃・自衛をいっさい行わないノンレジスタンス(無抵抗)の教えに従い、あらゆる暴力を避け」てきました。「国家間の戦争や革命の暴力だけでなく自分自身や家族を守るための実力行使も拒む」非暴力を徹底させました。それが現代での「良心的兵役拒否」の合法化に道を開きました。本書はその過程を丹念に跡づけています。再洗礼派という少数派の信念・生き方が、現実世界を動かす力となった。信仰の持つ力強さに改めて感じ入りました。



新着図書案内 その2



【S081 新書本】

- * ごみ収集の知られざる世界
藤井誠一郎著(ちくま新書)
- * ぼっちのままで居場所をみつける；孤独許容社会へ
河野真太郎著
- * 「嘘をつく」とはどういうことか；哲学から考える
池田喬著
- * 大学でどう学ぶか
濱中淳子著
(以上 ちくまプリマー新書)

【000 総記】

- * 学生時代に学びたい情報倫理 改訂版
頼大輔・矢野芳人著 共立出版

【100 哲学】

- * SNS時代のメディアディテラシー；ウソとホントは見分けられる？
山脇岳志著 筑摩書房
- * なぜ哲学を学ぶのか
矢嶋直規監訳 丸善出版
- * 18歳の壁；どう乗り越えるか
和田秀樹著 金の星社
- * 密教の話；曼荼羅の世界【改訂新版】
金岡秀友著 佼成出版社

【200 歴史】

- * なんで人は青を作ったの？；青色の歴史を探る旅
谷口陽子他著 新泉社
- * 楽しく学べるはにわ図鑑
かみゆ歴史編集部編 朝日新聞出版
- * 皇室とメディア；「権威」と「消費」をめぐる一五〇年史
川西秀哉著 新潮社
- * 能登のムラは死なない
藤井満著 農山漁村文化協会

【300 社会科学】

- * 池上彰の世界の見方 アフリカ；希望の大地か、暗黒の大陸か
池上彰著 小学館
- * 世界の現在がわかる 中国 松村雄太著 秀和システム
- * 中高生から考える死刑制度；死に値する罪ってなに？
佐藤大介著 かもがわ出版
- * 知っておきたい子どもの権利 鴻巣麻里香著 平凡社
- * 親子で学ぶ どうしたらお金持ちになれるの？；人生という「リアルなゲーム」の攻略法
橘玲著 筑摩書房
- * ウクライナわたしのことも思い出して
ジョージ・バトラー著 小学館
- * 今さら聞けない防災の超基本
永田宏和著 朝日新聞出版
- * スクールハラスメント 神内聡著 さ・え・ら書房
- * 自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門
箕曲在弘著 大和書房

【400 自然科学】

- * 「科学・技術の歴史」が一冊でまるごとわかる
白鳥敬著 ベレ出版
- * わたし、サイエンスエンターテイナーになる！
五十嵐美樹著 WAVE出版
- * 猫と考える動物のいのち 木村友祐著 筑摩書房
- * ズーミング！水族館 小宮輝之著 秀和システム
- * 水族館飼育係だけがみられる世界 下村実著 ナツメ社
- * 僕には鳥の言葉がわかる 鈴木俊貴著 小学館
- * コアラがかわいい 早川卓志著 KADOKAWA

【500 技術・工学・工業】

- * SDGs環境編 由井蘭健著 誠文堂新光社
- * 宇宙を編む；はやぶさに憧れた高校生、宇宙ライターになる
井上榛香著 小学館

- * バイオミメティクスは、未来を変える；生物をきっかけに創られたテクノロジー 橘悟著 WAVE出版
- * はじめての刺しゅう 寺西恵理子著 日東書院本社
- * 実験でわかる！おいしい料理大研究
石川伸一著 誠文堂新光社
- * 季節を味わう初めてのびん詰め
qillilyt 著 山と溪谷社
- * トーストの発想と組み立て；コク、甘み、塩味のバランスで作るおいしさの探究 ナガタユイ著 誠文堂新光社
- * ひき肉のごちそう；丸めて、ほぐして、おいしさ広がる
若山曜子著 KADOKAWA

【600 産業】

- * 薬草を食べる人びと；北アルプスが生んだ薬箱のまち飛騨
垂見和磨著 世界文化社
- * 稲作ライブ サルイン著 くもん出版
- * 僕は猛禽類のお医者さん 齊藤慶輔著 KADOKAWA
- * 海と生きる；「気仙沼つばき会」と『気仙沼漁師カレンダー』の10年
唐澤和也著 集英社
- * 絶対に失敗しないSNSの教科書 五十嵐豪著 晶文社

【700 芸術】

- * 自分につながるアート；美しいってなぜ感じるのかな？
池上英洋著 筑摩書房
- * 意味がわかるとおもしろい！世界のスゴイ彫刻
佐藤晃子著 Gakken
- * みんなで描こう！黒板アート 学校行事編
すずきらな著 誠文堂新光社
- * 親子で楽しむ「ひらがな」の本 角田恵理子著 講談社
- * マンガでわかる雅楽； 遠藤徹監修 誠文堂新光社
- * 日本語と英語でわかる！もっと知りたくなる日本 茶道
相島淑美著 秀和システム
- * 人生が変わるゲームのつくりかた；いいルールってどんなもの？
米光一成著 筑摩書房

【800 言語】

- * AIにはない「思考力」の身につけ方；ことばの学びはなぜ大切なのか？
今井むつみ著 筑摩書房
- * 図解で学ぶめくるめく日本語史の世界
今野真二著 淡交社
- * 例解新国語辞典 第11版 林四郎著 三省堂
- * 例解新漢和辞典 第6版 山田俊雄著 三省堂
- * おいしさの表現辞典 普及版
川端晶子他編 東京堂出版

【900 文学】

- * オレがマリオ 俵万智著 河出書房新社
- * アーセナルにおいてよ あさのあつこ著 水鈴社
- * 学校に行かない僕の学校 尾崎英子著 ポプラ社
- * 晴れ、ときどき雪 小手鞠るい著 講談社
- * 虹色図書館司書のぼくと運命の一年
櫻井りお著 河出書房新社
- * 物語を継ぐ者は 実石沙枝子著 祥伝社
- * 海のなかの観覧車 菅野雪虫著 講談社
- * 街角ファンタジア 村山早紀著 実業之日本社
- * そしてパンプキンマンがあらわれた
ユンジョン著 小学館
- * 探検家 キャサリン・ランゲル著 ゴブリン書房
- * プラテローとぼく アン・ロン・ヒメツ著 小学館
- * この銃弾を忘れない マイ・カンサ著 徳間書店
- * 旅するイソップ；夜ふけに読みたい
田野崎アンドレア嵐+和爾桃子編訳 平凡社